

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホームみたらの杜 日和ユニット

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念と共に、事業所の独自理念として、「地域に根差した高齢者の笑顔あふれるケアを提供する」という理念実現のもとで日々のケアにあたっている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	室蘭市が運営する一般介護予防事業「えみなメイト」に講師として参加し、地域に向けて認知症の啓蒙活動を行っている。また、町内会事業にも参加し、絵鞆神社祭にも運営側で参加させていただいた。	えみなメイトだけではなく、町内会の活動として継続していく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの5類移行に伴い、感染対策を講じた上で毎回開催することができている。	1度予定を変更したものの毎回会議を開催できた。甚年度についても感染対策をしっかりと講じたうえで開催していく。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの感染状況等、必要な報告や助言をいただいていた。今後も運営推進会議等を通じて連携を図っていく。	運営推進会議の開催とともに、必要な連携もとれ、また実地指導により運営状況を把握できた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1度の身体拘束適正化委員会をはじめ、年間研修計画を立案し、研修会を開催している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員会が毎回同日に開催されており、運営状況が理解できた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の施設内研修で高齢者虐待事例についての検討会を実施しているとともに、年間で研修会を開催している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内、施設内ともに研修体制は十分なものといえる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修及び法人内研修において学ぶ機会が確立されている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約書及び重要事項説明書を使って、随時ご説明させていただいている。介護報酬改定時は説明とともに同意書をいただいている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	正面玄関に意見要望書の設置、相談窓口の統一・一本化、ケアプラン作成時随時要望の確認、年1回の入居者・家族アンケート実施。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者家族アンケートを年に1回実施しているのは良い取り組みだと思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	会議のなかで、運営に関わる役割を職員にもたせることで必然的に意見や提案が反省されている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	就業規則のなかでキャリアアップの項目を具体化し、給与算定に反映されている。また勤務時間についても家庭環境に配慮した工夫がされている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	実態までの把握は難しい。規則がしっかりあるようなので、充分できているとする
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍であっても、オンライン研修の機会をいち早く導入し、学びの機会を継続している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	もともと研修機会が多くあるのは知っている。回数も多いため充分と言える。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内他施設の職員をはじめ、他法人との関係も活発に行われている。コロナ禍もあり、交流は少なくなったが、今後また交流されていく。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の皆さまにも調理や洗濯、掃除等の家事に参加いただくことで、生活をともにする大切さを共有している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のなか、外出が制限されてしまう場面が多かったが、家族との関係性が途切れてしまわないようオンライン面会や仕切りを使って面会できるよう工夫できた。	外出の行事が再開されているを確認できた。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望やアセスメントによりケアに反映させている。同時に日々の生活の中から思いをくみ取るよう支援している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	作成や更新前にはご本人、ご家族の希望や要望を必ず確認しカンファレンスを開催している。また、職員の気づきや意見を取り入れながら、一人ひとりの現状に合わせた介護計画を作成している。	コロナ禍以前のサービス担当者会議にご家族の参加は困難であったが、必要な連絡については、しっかりと行えた。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話連絡が主体とはいえ、必要な意見等をくみ取っている。家族連絡も密にされ、記録に残されている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース記録にて日々の様子や計画についての実施状況を記録するとともに、個別にファイルし職員間で情報共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録がしっかりとされている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の通院送迎、車両手配を柔軟に行っている。	運営推進会議だけでは判断が困難。広報誌等にて把握はできる。家族としては連絡をくれているので十分と判断。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種ボランティアの訪問協力を得て、演奏ボランティアでは聞くだけでなく、実際に楽器に触れさせて頂く等の刺激を楽しむことができるように支援している。	特定のボランティアに限定した取り組みで感染対策がなされているのは大変良いと思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所協力医の他、サービス利用前からのかかりつけ医の診察を受けることができるよう、ご家族と協力し通院支援を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が入院した際には、担当者や職員がお見舞いし、不安や寂しを軽減できるよう努めている。また、ご家族と協力し、以降を踏まえ病院側との連絡を密にしたい委員復帰を目指している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の報告だけでは判断困難もご家族意見から判断する。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化及び看取り指針のマニュアルを整備し、段階に応じて具体的な個々の対応方針を進めていけるよう体制を整えている。また、都度家族への説明を行い不安解消に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に説明されることで安心感はあると思うが、長く入居していると忘れてしまう家族もいると思われるため、定期的に話し合われると良い。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の対応マニュアルを整備し、すぐに閲覧できる場所に設置している。また、普通救命講習を受講し実践力の向上に努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の自主避難訓練及び年2回消防立会のもと避難訓練を実施している。また、近隣事業所や自治会等と災害協定を交わし、互いに協力し合える体制を整備している。	町内会との連携が期待される。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会との訓練計画をぜひ実施してほしい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの中で自尊心を損ねないよう、特に排泄面での声掛けには特段の注意を払い、プライバシーに配慮したさりげない接遇を心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実態把握は難しい。研修会が開かれている等取り組みは良いと思う。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の日課や趣味、役割等を発揮できるよう支援するとともに、表情や気分を考慮しながら希望にできるだけそえるような支援を行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の支度、片づけは入居者とともに、役割が出来ている。食事席では入居者の関係性を考慮し、自ら進んで食事を楽しめる環境を整備し支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	広報誌で行事食等見られる。笑顔も多く見られている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内管理栄養士による献立表を中心に調理を行い栄養バランスを考慮した食事を提供している。また、咀嚼力や嚥下状態、趣向をに合わせて支援している。水分量はチェック表を活用し必要量が確保できるよう支援している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後の歯磨きやうがい、状態に合わせた器具の考慮、協力歯科への通院介助を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実態把握は難しい。取り組みは良いため、継続を期待。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表により個々の排泄間隔を把握し、状態に合わせた声掛けや誘導を行いトイレで排泄できるよう支援している。また日中においては極力オムツの使用がないよう目指している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実態把握は難しい。取り組みは良いため、継続を期待。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時間や回数は指定することなく希望に応じている。また、希望を伝えることが困難な入居者は、以前からの習慣に配慮し週2回は入浴できるよう支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日その日の生活リズムに合わせて、日中であっても休息がとれるよう支援している。特に体調や表情には注意し、積極的に状態把握を行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の内服している薬情報をファイルしており、いつでも確認できるようになっている。通院付添時には直接医師から薬についての説明を受け、職員間で情報共有に努めている。また、看護師からの助言、指導を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前からのかかりつけ医に通院しているとのことで、それぞれ病院が違うため大変な中、良く対応している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理や掃除は役割を発揮できる機会となっている。また家事だけでなく趣味や趣向を披露できたり、外出行事だけでなく散歩やゴミだし等、外へ出て気分転換を図る機会を多く設けている。	令和5年度は以前のように町内会との花壇づくりや町内会のお祭りを開催することができた。次年度も引き続き協力していきたい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物や散歩、花や畑の水やり、ドライブ等外出の機会を多く設けている。また、近隣事業所への訪問や行事への参加も行い、外の空気に触れる機会を増やしている。	コロナ禍により制限が多い中、施設周辺については必要以上の外出制限をしていないことで入居者のストレス緩和が図られている。		

		人々と協力しながら出かけられるように支援している					
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族と相談、協力しお金を所持することで安心できる方に対しては少額を持っていただく対応をとっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部からの手紙や電話の取次ぎはもちろんのこと、自発的に難しい方であっても、職員が手伝う等の支援を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	台所は皆で過ごすリビングに面しており食事の支度の音や匂いが伝わりやすく、良い生活感を出している。トイレや浴室は玄関から奥の居室間にあり、場所の把握がしやすく、またプライバシー保護に努めている。 リビングには観葉植物を置いたり、季節にあった花を飾ったり設えを行うことで季節感に配慮した環境づくりを行い、心地よく落ち着いて過ごせるよう工夫している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	広めの空間があるのでよく活用されている、	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前からの情報や、アセスメントにもとづき意向の確認が行えている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前からの趣向や新たな趣向が損なわれる事がないよう、ご本人の意思を尊重するとともにご家族にも協力を頂き支援している。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に毎日の生活状況を記録しており、その他の記録とも関連しながら日々のケアを実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の記録が良くなされている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前情報や、家族からの情報により、生活歴を踏まえた関わりがなされている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時になじみの物を持参いただき、リロケーションダメージへの緩和に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	広報誌や写真により取り組まれているのが理解できる
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	祭事については家族協力のもとで、参加している。その他本人希望による外出も柔軟に対応している。	以前は馴染みの美容室への外出等あったが、コロナにより困難な状況となった。次年度は再開していった。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事等、役割を持った生活ができている。当然困難な方もいるため、楽しみごとがもてるよう、支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事席単位での小さいコミュニティで楽しく過ごせるよう支援している。困難な方についても職員が仲介することでアットホームな空間づくりを心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の様子で笑顔がたくさん見られている。季節行事も多く楽しんで暮らしている様子がわかる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で制限が多いことがあり、地域交流が困難であったため、以前のように交流できるよう協力を得ている。	コロナ禍が落ち着いてくれば町内会としても施設との関わりを以前のように、増やしていきたい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスに制限される生活の中で、ご家族の協力を得ながら、その人らしい暮らしの実現のため支援ができた。	感染対策をしっかりとした上で地域との共生が図られるよう、地域との絆をあらためて深めていく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、大変だったと思う。あらゆる制限のなか、入居者の暮らしを守られていた。